

登録コード	MA004000	開講年度	2026				
授業科目名	遺伝カウンセリング研究					担当教員	古庄 知己
英文授業名	Genetic Counseling: Research					副担当	高野 亨子・中村 勝哉
単位数	8	講義期間	不定期	曜日・時限	不定期	対象専攻 / 学年	
講義室				授業形態		授業科目区分	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科						
	【研究科共通】自らの得た成果を世界に向けて発表するグローバルな情報発信能力を有するとともに、国際的な諸課題に積極的に取り組むことができる。					遺伝カウンセリング研究を通じて、自ら研究し、その成果を発信し活用できる。	
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。					遺伝医学の基礎的知識を習得した上で、主体的に遺伝カウンセリング研究を進めることができる。	
	【医科学】生涯にわたって課題を探索し、自らの能力・専門性を高めることができる。					卒業後も認定遺伝カウンセラーとして自己研鑽を続けるための基礎を作る。	
(2)授業の概要	・ 遺伝カウンセリング研究（修士論文）の遂行						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	・ 遺伝カウンセリング関連研究の方法を学び、研究テーマを決めて遂行する。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・ 遺伝カウンセリング関連研究の一連の方法（研究テーマの決定、情報収集、計画立案、倫理申請、研究遂行、論文作成等）について理解し、実施できる。						
(5)授業計画	・ 遺伝カウンセリング研究におけるテーマ決定、情報収集、計画立案、倫理申請、研究遂行、論文作成を含む包括的な実習（実習：合計240時間）						
(6)授業の進め方	・ 演習						
(7)履修上の注意 ・ 事前事後学習の内容	・ 担当教員より指示						
(8)成績評価の方法	・ 修士論文：可以上						
(9)成績評価の基準	・ 論文：(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	古庄 知己 他 遺伝医学教室（内線5207）						
【テキスト，教材，参考書】							